

2019年10月30日
一般社団法人 日本広告業協会

「SDGsポスター」 入賞作品 決まる

日本広告業協会 CSR委員会では、これまで会員社向けインナープロモーションとして募集していた「環境モラルアップポスター」事業を、今回は企業でも関心が高まっているSDGs（持続可能な開発目標）をテーマとして実施した。10月10日開催のCSR委員会による審査会において入賞作品を選出し、10月30日開催の第314回理事会にて報告した。

今回は12社46名から91作品の応募があり、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を下記のとおり選出した。入賞作品はJAAAレポート12月号及び協会ホームページにて掲載を行い、最優秀賞はB2ポスターにして12月初めに会員社各社へ送付する。

記



最優秀賞

スキップできない課題が私たちにはあります。



電通西日本 岡山支社
コミュニケーションプランニングセンター
プランニング部

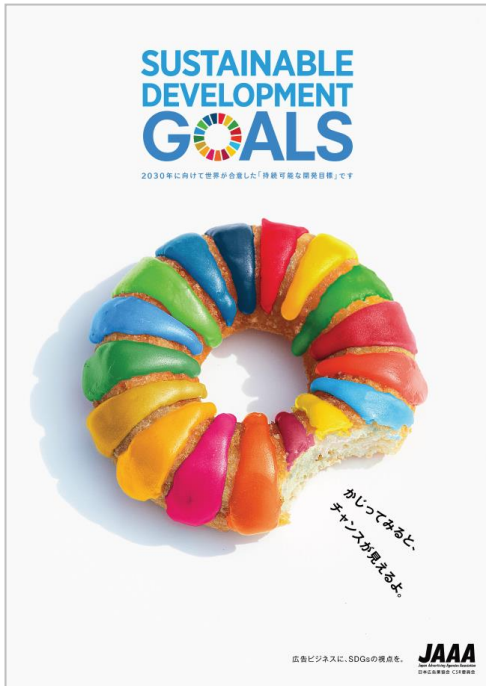
コピーライター・プランナー 正躰 慧吾 氏 (写真)
クリエイティブアドバイザー 川口 修 氏

【受賞者からのコメント】

この度はこのような素晴らしい賞をいただき、誠にありがとうございます。よく広告は「見られないもの」と言われますが、そのマイナスな部分をプラスにできないかと考え、SDGsまで「見られないもの」になってはいけないという表現に至りました。みなさまの心の中に、SDGsへの意識が少しでも花ひらけば幸いです。

【審査員コメント】

スマホ広告のコンテンツになぞらえて、SDGsを安直に見過ごすことは許されないという制作者の強い意志が感じられます。広告業界の皆さんに意識してほしい点を巧みに突いた作品です。



優秀賞

かじってみると、チャンスが見えるよ。

東急エージェンシー クリエイティブ局

SDGsプランニング・チームPOZI

丸原 孝紀 氏

第1クリエイティブ部

本多 陽一 氏、

扇 玲香 氏

【審査員コメント】

誰もが思わず目をとめてしまいそうな「ドーナツ」。SDGsを身近な存在として受け止めてもらうためのユニークな発想が、心憎いばかりの表現で仕上げられているのが印象的です。



優秀賞

2030年までに、クライアントと料理したい17のメニュー。

東急エージェンシー クリエイティブ局

SDGsプランニング・チームPOZI

丸原 孝紀 氏

第1クリエイティブ部

本多 陽一 氏、

扇 玲香 氏

【審査員コメント】

ひとつひとつのメニューに、17ゴールについての制作者独自の視点が強く反映されている作品です。SDGsをフックにして、広告会社が心がけるべき日常的な行動がユーモラスに表現されています。

以上

えちぜんや
問い合わせ：事務局担当 越前谷・堀 (TEL03-5568-0876)